

2022年度 日本工学院八王子専門学校											
音響芸術科											
音楽基礎 3											
対象	2 年次	開講期	前期	区分	必	種別	講義	時間数	30	単位	2
担当教員	BAN			実務 経験	有	職種	ミュージシャン				
授業概要											
音楽基礎知識、音楽に関する文化、知識を学ぶ。音やリズム、用語、理論を身につけ、譜面から情報を読み取る能力をつける。音楽の背景にある科学、世界の文化や知識を得ることで、幅広い対応ができるスキルを身につけることを目的とする。											
到達目標											
音響の仕事に就く際、採用試験対策として必要な音楽のコミュニケーションツールとしての譜面を理解できるようになること。譜面の構成の仕方、音符休符の種類、リズムの表記法、音名を理解し、それらを読むことができること。音楽用語、標語、記号を覚えて書くことができ、活用できるようになることを目標とする。											
授業方法											
1年次の復習を交えながら学習する。覚えるべき重要箇所は板書してノートに書き取り進める。授業内容によっては必要に応じてプリントを配る。授業後半では理論を覚えるだけでなく音楽への見識を広く得るために、音楽ジャンル分析や研究、画像で楽器の形を見たりその音を聞いたりし、その名前、性質や歴史などを学習する回を設ける。レポートを提出を行うこともある。											
成績評価方法											
期末試験 8 0 % ・ 他 2 0 % は課題 ・ 小テスト ・ レポート ・ 平常点を総合的に評価。											
履修上の注意											
キャリア形成の観点から、授業中の私語や受講態度などには厳しく対応する。授業に出席するだけでなく、社会への移行を前提とした受講マナーで授業に参加することを求める。必ず筆記用具、ノート、五線譜を用意すること。授業で使ったプリントやノートはいつでも振り返って確認できるように学んだ順にファイルして毎回の授業で持ってくる。他、学生心得に準ずる。											
教科書教材											
適時プリントを配布											
回数	授業計画										
第1回	音楽知識確認テストこれまでの音楽的な理解度を確認する。										
第2回	譜面からの情報を理解することができる。音部記号とその音名がわかる（日本名、英名、独名、伊名）。音符、休符を書くことができる。										
第3回	譜面からの情報を理解することができる。拍子と小節の表記についてわかる。速度記号、標語、記号が理解できる。										

2022年度 日本工学院八王子専門学校	
音響芸術科	
音楽基礎 3	
第4回	譜面からの情報を理解することができる。シンコペーション（切分法）を含んだリズム、3連符がわかる。ダイナミクス記号、略記法の意味がわかる
第5回	拍子に沿ったリズム表記を書けるようになる。楽曲構成分析。
第6回	調号とキーについて理解できる。平行調、同主調の復習。音楽ジャンル研究。
第7回	これまでの復習とまとめ。小テストでチェック。音楽ジャンル研究。
第8回	インターバル（1）復習 長短、完全、増減がわかる。楽器研究。
第9回	インターバル（2）複音程、転回音程がわかる。楽器研究。
第10回	コード（1）トライアドの復習 楽器研究。
第11回	コード（2）4和音の復習 楽器研究。
第12回	コード（3）テンション表記が理解できる。楽器研究。
第13回	ドラムの記譜法1。楽器研究。
第14回	ドラムの記譜法2。楽器研究。
第15回	前期まとめ前期の重要な箇所のまとめで、理解してなかったところ覚えてなかったところをわかるようにする。楽器の分類。